

2023年度 業績予想の修正



Enhancing planetary health

2024年4月30日
日揮ホールディングス株式会社

ファイナンスユニット部長の田口です。
これから2023年度通期業績予想の修正についてご説明させていただきます。

業績予想の修正

Enhancing planetary health



1. 2023年度通期業績予想の修正

	前回発表予想	今回修正予想	増減	
売上高	8,000	8,300	+300	+3.8%
売上総利益	480	110	△ 370	△ 77.1%
利益率	6.0%	1.3%	△ 4.7pt	
営業利益・損失	160	△ 190	△ 350	-
経常利益	280	0	△ 280	-
親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失	160	△ 80	△ 240	-
1株当たり配当金	40円	40円		

総合エンジニアリング事業において追加費用の計上を行う必要が生じたことから、2023年度の業績予想の修正を本日発表いたしました。

売上高は、3.8%増の8,300億円。

売上総利益は、370億円減の110億円。

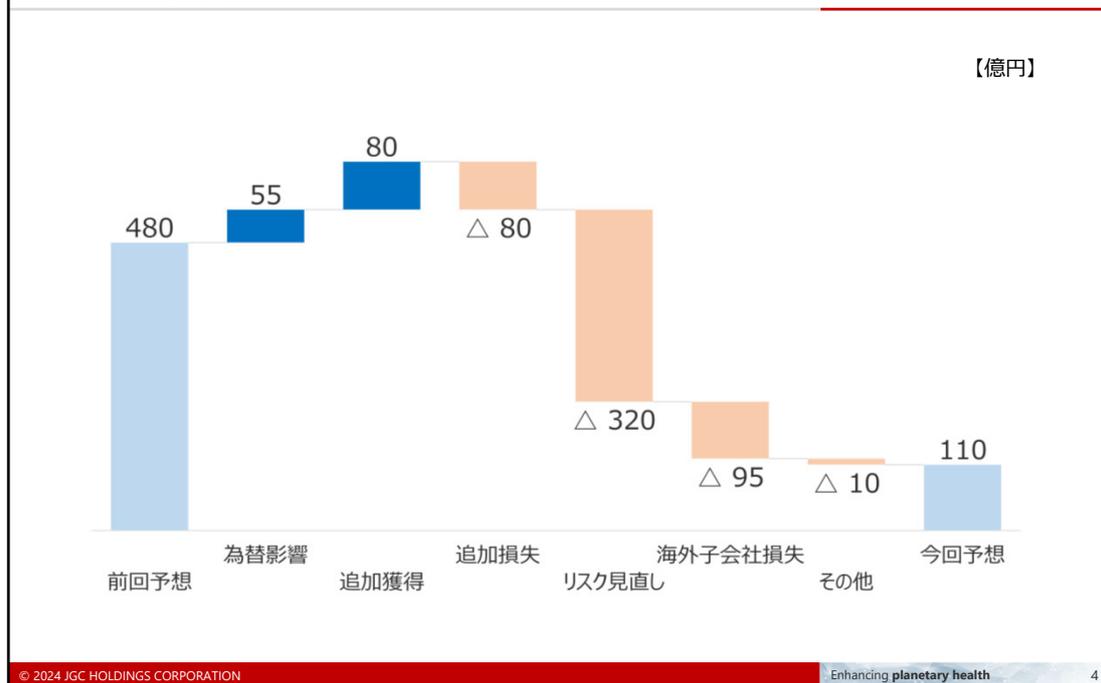
営業利益は、350億円減となり、190億円の損失。

経常利益は、280億円減でほぼゼロ。

親会社株主に帰属する当期純利益は、240億円減となり、80億円の損失です。

配当金については、足元の流動性等を考慮し、1株当たり40円の予想を変えておりません。

2. 売上総利益



売上総利益の通期予想修正内容についてご説明いたします。

ドル円の為替レートが140円の予想に対して期末151円台と円安になったことで約55億円の上振れ効果がありました。

海外大型案件で手続きが進んでいたチェンジオーダーが第4四半期に獲得できたことで約80億円の利益押し上げとなりました。

一方、第3四半期に損失計上したタイの化学案件で設計・調達コストの見直しが必要となり約80億円の追加損失を計上しました。

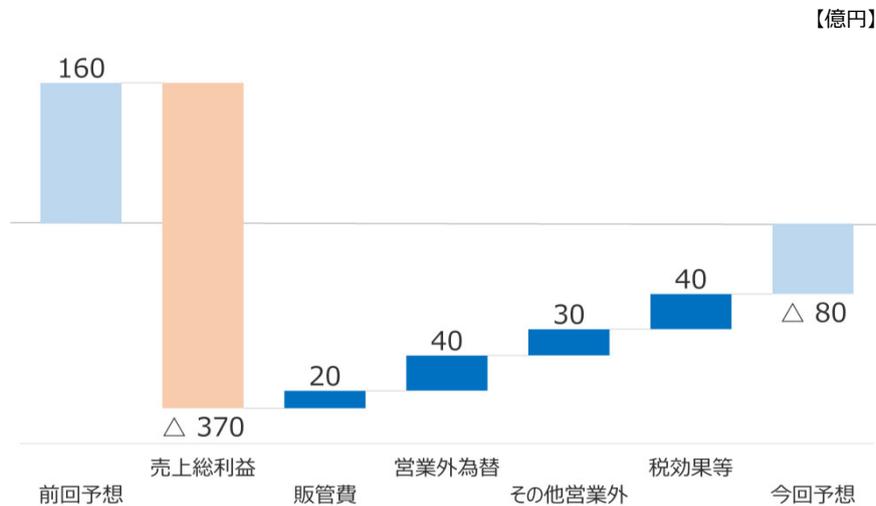
さらに、海外主要プロジェクトについて、直近の状況を踏まえたリスクの見直しを行い損失引当を行った結果、320億円のマイナスとなりました。

これにより新たにサウジアラビアの石油・ガス分離設備建設プロジェクトが損失案件となりました。

同様に海外子会社のプロジェクトについても見直しを行い、サウジアラビアのNGLプラント増強プロジェクトで資機材の輸送スケジュールの遅れなどによる追加費用や、新たにインドネシアのLNGターミナル案件においてリスク対応費用を見込んだことなどで95億円の損失を計上しました。

全体で売上総利益は370億円減少の110億円を見込む結果となりました。

3. 親会社に帰属する当期純利益・純損失



親会社株主に帰属する当期純利益の通期予想修正内容についてご説明いたします。
売上総利益が370億円減少したのは前のスライドでご説明の通りです。
人件費の減少などにより販管費が20億円減少しました。
営業外では円安影響により為替で40億円、海外子会社の法人税還付加算金等により30億円の上振れとなりました。
そのほか、税効果等があり、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想160億円から240億円の減少、結果として80億円の損失となりました。

業績予想の修正の内容については以上です。

今後の対応

Enhancing planetary health

続いて、副社長執行役員CFOの寺嶋より、今後の対応についてご説明させていただきます。

4. 今後の対応

状況

- 複数案件の採算悪化を受け、主要プロジェクトの遂行状況・計画・予算を精査
- 必要なリスク対応費用を追加計上
- 新たに2件の損失プロジェクト

課題

- 適正人員配置による設計業務の遂行と品質確保
- 海外グループ会社の遂行能力に応じたプロジェクトへの取り組み

対応

- 採算性と適正人員配置を重視しつつ、旺盛なプロジェクト引合いに対応
- 事業管理体制の見直し
- 海外グループ会社の役割の見直し

現在の状況ですが、第2四半期、第3四半期に続き、採算が悪化する状況を受けて、海外主要案件については遂行状況、遂行計画、予算等を集中的に精査いたしました。その結果、必要なリスク対応費用の予算を追加計上することとなり、サウジアラビアとインドネシアで新たに2件が損失プロジェクトとなりました。プロジェクトの採算悪化にはそれぞれ個別の状況による要因がありますが、通底する課題が明らかになりつつあるとの認識です。本日は課題として2点を挙げさせていただきます。

まず、設計業務については、事業分野拡大方針の下、エネルギーソリューションズ、サステナブルソリューションズ、ファシリティソリューションズといった多面的な事業分野に展開することで設計リソースの分散が起こったことに加え、サステナビリティ関連をはじめとする探索領域への人員輩出や異動も相俟って、一部プロジェクトにおける設計業務の配員がタイムリーに行えない状況がありました。

当社としては、事業拡大や探索を進めることが設計業務遂行に関する成長機会になると捉え、海外拠点の活用範囲拡大や未経験人材の登用など試行錯誤を伴いながらも積極的な業務遂行を進めてきました。

しかし、大型案件において期待通りの効果が上がらない状況が顕在化し、スケジュールの遅れやリカバリーのための追加作業が発生する結果となりました。

プロジェクト遂行に当たっては今後、適正な人員配置を行い設計業務をスケジュール通りに遂行するとともに、設計の品質を確保することが課題となります。

また、海外グループ会社では、リージョナル経営体制のもとローカル市場のプロジェクトを受注遂行する方針を取ってきましたが、グループ会社の遂行能力・体制構築が後手に回ったことは否めません。

以前のように小規模プロジェクトが中心であれば、海外グループ会社の遂行能力に問題はなかったと考えていますが、中規模プロジェクトを受注遂行する能力・体制がまだ追いついていなかったと考えています。

今後は海外グループ会社に備わった遂行能力を見極め、それに応じた規模、内容のプロジェクトに取り組む方針を徹底する必要があります。

これらを受けて、LNG中心に旺盛なプロジェクトの引き合いに対して、採算性に加え、特に設計業務に関して適正配員を重視した対応を行うとともに、海外EPC事業の管理体制や、海外グループ会社の役割の見直しを進めており、5月14日の決算発表時に改めて説明させていただく予定です。

この度、2023年度に損失を計上することになったことについて重く受け止めており、グループ一丸となって業績の回復に取り組んでまいります。

以上でご説明を終わります。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com